

「滋賀県日野町」だよ!!



氏郷まつりハイチーズ

INDEX

- 特集 読者の声、集めました P2
- 委員会からの報告 P3~5
- 13議員一般質問に立つ P8~21
- 議員のうごき P22

9月議会
7月25日に開催された
臨時会議および
9月1日から26日に開催
された定例会議の結果を
お知らせします。

日野町のPRキャラクター
あのなひのな

特集

30の視点 前回号(第32号)の評価を尋ねました

議会広報
常任委員会

ズバリ言います

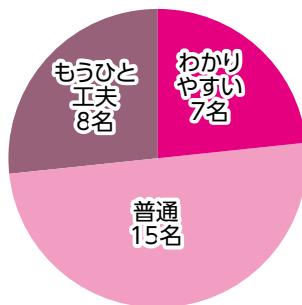
議会広報常任委員会では「手に取って読んでもらえる」紙面を目指して議会だよりを作成していますが「議会活動が町民に見えない」とのご意見もいただいています。そこで、前回号の紙面に対してのアンケートを実施し、多くのご意見をいただきましたので、その結果を掲載します。

皆さまの貴重なご意見を参考に、住民目線での紙面づくりのステップアップに努めてまいります。

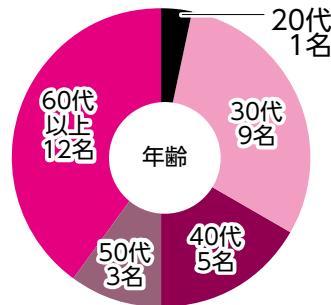
●関心のあるページは

- 1位 25票 一般質問の内容
 - 2位 15票 特集ページ
(2~3ページ)
 - 3位 11票 委員会の報告
 - 11票 提出された
議案と結果
 - 4位 10票 裏表紙
 - 5位 8票 表紙
- 複数選択が可能

●議会だよりの内容は



●今回の回答者は(30名)



一般質問のコーナーについて

- 暮らしに関係する内容が一般質問の中に埋もれてしまっているので「今回の議会で暮らしがこう変わる！」といった形でまとめてほしい。
- 文章が多いと詳細が分かりますが、その反面読むのに時間がかかり流し読み、もしくは読み飛ばしてしまう。詳細を知りたいが文章を少なくし、文字や図・写真が大きめになるともっと読みやすくなる。
- 議会での質問や応答に関しては録画放送で視聴できるので、わざわざ冊子にして配布すること自体もったいないと感じる。各議員の質問に至る考え方や、ビジョン、日常の活動など見えにくい部分に焦点を当てたり、それぞれ議員独自による個別広報活動を支援するなど工夫してほしい。

- 専門用語（浚渫・専決処分・付託・扶助費など）が解説無しで登場し理解しづらい。
- 議員の質問がだらだらと長くて答えの部分があっさりとし過ぎて、こんな回答しかされなかつたの？と思ってしまう。議員の質問をわかりやすく簡潔にしてもらいたい。
- Q&A方式で記載されていますが、Aがいわゆる「答え」になってない。結果や有効性が見えない。
- 写真については説明がないと何の写真かわからないようなものがあります。また資料を掲載したい気持ちもわかりますが、細かいので見るのも読むのもたいへんです。
- 議員の質問が長すぎて読む気が失せる。

「小学校六年生の議場見学」 の記事からひとこと

- 子どもの議会参加というのが本題であればもっと質問時間があればいいと思う。今まではただ見ているだけで本来の「見て学ぶ」という目的からは遠い気がする。子どもが質問して議員さんが答えてさらに子どもからの意見が聞けるといいなと思う。今後も議会見学は続けていってほしいと思う。

議会へのご意見

- テーマに基づく特集ページで議会の考え方など知らせていくことも必要ではないでしょうか。
- 今の町民が切実に願っていることについてもっと町民の声を聞き取り検証しながら進めてほしい。

これまでの議会だよりは町のホームページや日野町防災アプリからもご覧いただけます。



議員間討議を積極的に行い、議会を活性化!

政策立案、提言に向けて研修会(全4回開催予定)

今年度、外部から講師を招き、多様化する町の諸課題に対応できる政策立案ができるよう、全議員で取り組んでいます。

9月3日の第2回目の研修会では、日野町議会基本条例を再確認し、他市町の例や予算関連資料をもとに「政策提言とは何か」について学びました。研修はグループワーク形式で実施し、お互いの意見を共有しながら議論を進めています。

次回は広報広聴を学ぶ

スタートした取り組み

●タブレット端末の活用

更なる活用で議員力や議会力を向上させる

●日野町の議員定数の議論

日野町で14名が必要なのか議論を深める

●常任委員会で採決前の議員間討議の実施

●一般質問の振り返り勉強会

今後の取り組み・課題

●議会報告会の開催

町内7地区、全議員が参加して行う

●議員のなり手不足解消への

取り組み

●日野町議会業務継続計画の

見直し

●広報や広聴の更なる充実

議会力向上 特別委員会



地域振興 対策 特別委員会

人口減少対策への議論深める

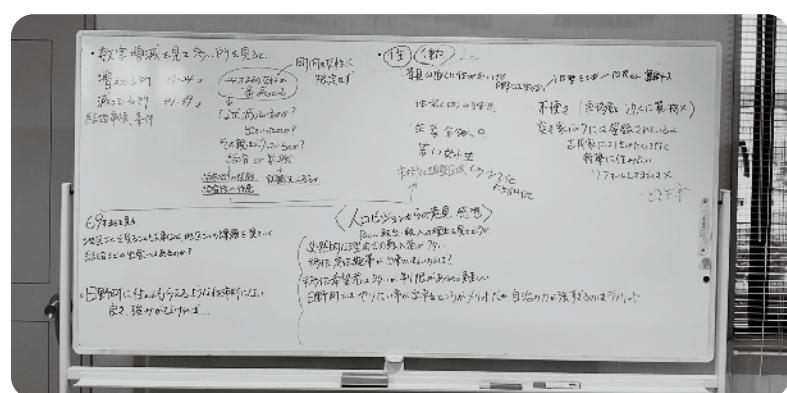
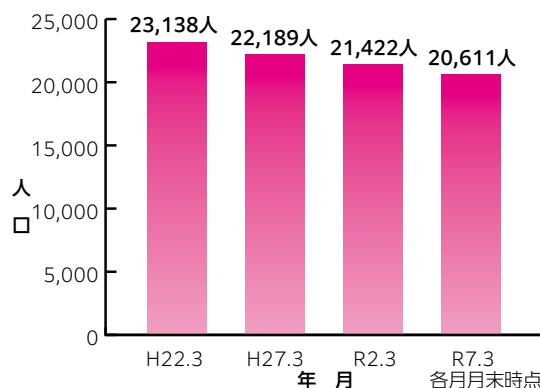
人口減少 への対応

7月から9月に3回の委員会を開催し「人口減少」が町の将来を左右するテーマであることを確認するとともに「人口減少は結果(事象)であり、人口減少という状況にどう対応していくか」を真の課題として、今後調査研究を進めることとしました。

9月18日の委員会では、町の人口推計や人口ビジョンを基にグループワークを行い、①若年層(特に女性)の転出、②雇用の場の確保、③住居の確保(市街化調整区域の規制緩和)等について議論を深めました。

今後も、必要に応じて意見交換会や先進地視察を行い、アドバイザーによる研修も活用しながら進めています。

日野町の人口推移



議論した内容

予算決算
特別委員会付託案件
1件

待ち望まれる新しい認定こども園

ピックアップ 認定こども園整備事業 3,600万円増

内容 幼保連携型認定こども園の整備に向けて早期に取り組む必要があることから、用地測量や基本設計等に必要となる経費を新規に計上。

問 整備事業委託料3,600万円の内訳は何か。またこの額は妥当なものか。

答 基本設計、事業認定支援業務（測量設計含む）、造成設計業務、農業用水設計業務の4業務である。また概算による積算設計を行っており、同種業務と同様の相場と考えている。

ピックアップ 防犯対策事業 52万8千円増

内容 滋賀県防犯カメラ設置促進事業交付金を活用して、防犯カメラの設置要望があった集落に対して購入補助をするもの。

問 防犯カメラは、何か所設置予定か。また設置する理由は何か。

答 5地区の計8か所に設置予定である。集落の入り口や集会所に設置されるもので防犯対策が主である。

手数料・使用料の改正は適切か？

総務
常任委員会付託案件
6件

ピックアップ 手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

内容 各種証明書等の交付手数料を200円から300円に改定。
コンビニ交付については200円に据え置き。

問 窓口での手数料は値上げし、コンビニ交付手数料を据え置く理由は？

答 窓口手数料は近隣市町の水準に合わせたもの。コンビニ交付手数料を据え置くことでマイナンバーカードを利用したコンビニ交付を促進し、窓口業務の負担を軽減させる。

【反対討論】マイナンバーカードの取得を誘導する施策である。

【賛成討論】窓口業務の負担軽減に繋がり、行政全体の効率向上に資する。

ピックアップ 使用料条例の一部を改正する条例の制定

内容 わたむきホール虹、グリム冒険の森の各施設の使用料の値上げ

問 施設の改定における基本方針は？

答 物価や管理費の高騰分を指定管理料のみでなく、受益者負担とのバランスを考慮して改定額を決めた。



産業建設 常任委員会

付託案件
3件



すぐそこに迫る災害への対応を!

ピックアップ 日野町公共下水道条例の一部改正

内容 災害時等において、他の市町村長が指定した者による排水設備等の工事を可能とする案件

問 条例改正のねらいは?

答 大規模災害時、広域連携での復旧を迅速に行うことができる。



調査研究 町内各所の除草・伐採について課題を洗い出す

内容 国道や県道をはじめ、町道や里道などそれぞれに管理者が決まっている。これまで各管理者が適切に維持管理を行ってきたが、人口減少・高齢化により担い手不足が大きな課題となっている。様々なケースを想定し対応していく必要がある。



子ども・子育て支援金制度の在り方について意見あり

ピックアップ システム改修に伴う委託料

内容 令和8年度からの子ども・子育て支援金制度開始に伴い、国の財源を活用しシステム改修に必要となる経費を計上。(議第63号・議第65号)

問 国民健康保険の保険税に子ども・子育て支援金を上乗せして徴収することについて、町としてどう考えているのか?またなぜ、国税で徴収するのではなく医療保険に上乗せして徴収するのか?

答 「子育て施策」を全世帯で支えるという趣旨で、医療保険から財源確保するというのが国の考え方である。すべての医療保険が対象となるよう制度化されているため、国民健康保険についても事務を進めている。

【反対討論】 子ども・子育て支援にかかる財源を医療保険に上乗せする施策に問題あり。経済的に苦しい国民健康保険加入者にも負担がかかる。

【賛成討論】 すでに制度が始まろうとしている今この段階で反対するべきではないと考える。国で議論されている段階で要望を上げるべきである。

厚生 常任委員会

付託案件
5件



調査研究 生活支援体制整備事業について

内容 「生活支援コーディネーター」と「協議体」の配置により、介護予防や住み慣れた地域で暮らしていくように、取り組みを進めていく事業。



提出された議案と結果

○賛成 ×反対

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

7月臨時会議(7月25日)

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	
議第50号	令和7年度日野町一般会計 補正予算(第3号)	補正予算額 1,098万9千円 ・物価高騰の影響を受ける生活者や事業者等への支援を行うための経費 ・議場会議システムの不具合に伴う更新費用 など

9月定例会議(9月1日~26日)

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第51号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—
議第52号	日野町教育委員会委員の任命について	—
議第53号	財産の取得について(図書館システム電子計算機器類)	総務
議第54号	町道の路線の認定について	産建
議第55号	日野町の議會議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第56号	日野町職員の育児休業等に関する条例および日野町職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第57号	日野町税条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第59号	日野町使用料条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第60号	日野町上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	厚生
議第61号	日野町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第62号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第4号)	予算決算
議第64号	令和7年度日野町介護保険特別会計補正予算(第1号)	厚生
議第66号	令和7年度日野町水道事業会計補正予算(第1号)	厚生
議第67号	令和7年度日野町下水道事業会計補正予算(第1号)	産建

●10月に集中審査することとなった案件 付託先:予算決算特別委員会

番号	町長提出議案	付託先
議第68号	令和6年度日野町一般会計歳入歳出決算について	
議第69号	令和6年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	
議第70号	令和6年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算について	集中審査
議第71号	令和6年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	△開催日
議第72号	令和6年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算について	10月20日、21日、29日、30日
議第73号	令和6年度日野町水道事業会計決算について	
議第74号	令和6年度日野町下水道事業会計利益の処分および決算について	

●賛否が分かれた案件

番号	提出議案	付託先	結果	錦戸	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
議第58号	日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/
議第63号	令和7年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/
議第65号	令和7年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/

議第58号 日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

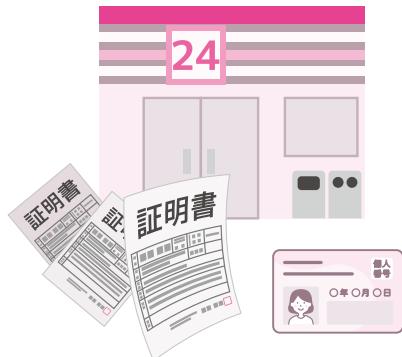
住民票等の各種証明書の交付手数料を200円から300円に改定するもの。ただし、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付等の場合は、現行どおり200円に据え置き。

マイナンバーカードの取得や利用促進への政策誘導ではないか

- ・住民の利便性を考えれば、不便な窓口での申請では、なおさら200円に据え置くべきである。
- ・マイナンバーカードを持っていない人だけが負担増になることは公平性に欠け、マイナンバーカードの取得および利用の促進に向けての政策誘導ではないか。

地方自治体として当然の取り組みである

- ・近隣の市町で300円が普通になっている中で、コンビニで発行した場合に200円に据え置いていることは評価できることではないか。
- ・マイナンバーカードは国が推奨する施策であるため、地方自治体として当然の取り組みであり、マイナンバーカードの取得は強制ではなく任意である。



議第63号 令和7年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議第65号 令和7年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

子ども・子育て支援金*制度の導入に向けたシステム改修に伴う委託料の増額

負担増となるような制度のシステム改修を認めるわけにはいかない

- ・医療保険料に上乗せする徴収方法に納得がいかない。この制度は、国保加入者や後期高齢者の負担増となるものであり、そのためのシステム改修を認めるわけにはいかない。
- ・国の制度として決められたものであるが、国や県に再考を求める意味でも、地方議会が意思表示を行うべきである。

法令に基づいたシステム改修の経費である

- ・令和8年度からの子ども・子育て支援に伴い、法令に基づいた一連の流れの中の必要なシステム改修の経費である。町は国の制度を素々と進めていく以外になく、この時期において議論の余地はないと考える。

※子ども・子育て支援金とは？

子ども・子育て支援金制度とは、少子化対策を強化するために、全世代・全経済主体で子育て世帯を支えるための新しい仕組みです。子ども・子育て支援金は、その財源として医療保険と合わせて徴収される徴収金のことです。

令和7年9月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 谷口 智哉	1 狩猟免許取得に対する助成はないのか 2 子どもや保護者が相談できる居場所作りが大事ではないか	P. 9
2 川東 昭男	1 急傾斜地の危険な草刈りを町でお願いできないか	P.10
3 高橋 源三郎	1 メロディチャイムの曲を四季に合わせて変えてはどうか 2 松尾公園にあるカリヨンベルを大谷公園に移設できないか	P.11
4 錦戸 由佳	1 子どもたちの食のあり方について	P.12
5 福永 晃仁	1 日野町的マーケティングと持続可能性 2 あれから80年「私たちはどう生きるのか」	P.13
6 西澤 正治	1 近江日野産日野菜の生産振興について	P.14
7 松田 洋子	1 学校給食費の無償化について(その2) 2 新こども園の園舎は3,200m ² 必要か	P.15
8 山本 秀喜	① 美味しい「近江日野米」を構築し、持続可能な地域農業に ② GI認証「近江日野産日野菜」の生産拡大について ③ 民間による鳥居平・松尾工業団地の産業立地から見える課題について	P.16
9 加藤 和幸	1 町消防団の定数と集落の現状について 2 高すぎる国保税の引き下げを	P.17
10 柚木 記久雄	1 南比都佐地区5集落が供給を受ける甲賀市上水道の断水事象について 2 病児・病後児保育の施設について	P.18
11 中西 佳子	1 平和堂跡地利活用と商店街振興について 2 小・中学校体育館のエアコン整備について	P.19
12 後藤 勇樹	1 骨髄等移植ドナーへの支援拡充について ② 米増産への政策転換を受け町当局の農家への対応を問う ③ 町道奥之池2号線・第二工区の今後の進捗を問う	P.20
13 野矢 貴之	1 地域共生社会をつくる重層的支援体制整備とは？	P.21

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、

スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議はインターネット配信を行っていますが、機器更新中によりライブ中継、録画中継ともに音声のみの配信となっています。

一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



問 狩猟免許取得に対する助成はないのか

答 事前講習会の受講費助成は行っているが、個人の資格取得に対する助成は研究していきたい



たにぐちともや
谷口智哉 議員



有害鳥獣被害に
関しては、私自身の
日野菜も食害にあった過
去があり、獣害防止の当事
者が増えるきっかけにな
るよう質問していきたい。

①「東近江地域鳥獣被害
防止計画」とはどのように
なものですか。

②日野町として、農作物
の被害は何が問題である
ととらえているのか。

③獣害を減らすためには
どうしていく事が必要だ
と考えるか。

④捕獲の当事者を増やす
ことも獣害減少につなが
るのではないか。

⑤捕獲の当事者としての
獣猟免許取得者を増やす
ために獣猟免許取得に対し
て補助はしていないのか。

⑥ニホンザル等有害
獣の捕獲を計画的に進め、
農作物や生活被害を軽減さ
せることを目的としている。

⑦獣害に遭うことで、生産
者の方が落胆されること
はもちろんのこと、出荷出
来ないことによる収入の

減少、そしてこれらが繰り
返し起こることによって、
農業を続けようという意
欲の減退につながること
が問題であると考える。

③人と獣の住み分けがし
っかり出来るよう緩衝帯
を設けるために、山裾の
草刈りをし、寄り付きに
くい環境作りが必要であ
る。また、集落や田畠への
侵入がある場合は追い払
いをして、ここに来たら
追い払われると思わせ、
そもそも餌になるものを
置かないことや囲い込ん
ておくことも有効である
と考える。

④獣害減少に有効だと考
える。

①この制度を活用できる
子どもの条件が知りたい。
②対象となる子どもが支
援を受けられないまま成
長するなどのような弊害
が考えられるか。

③事業の支援概要を知り
たい。
④現在の利用状況と利用
するための手続きを伺い
たい。

⑤保護者や子どもが家庭
のことを信頼して相談で
きる第三の居場所が必要
ではないか。

⑥ニホンザル等有害
獣の捕獲を計画的に進め、
農作物や生活被害を軽減さ
せることを目的としている。

⑦獣害に遭うことで、生産
者の方が落胆されること
はもちろんのこと、出荷出
来ないことによる収入の

問 子どもや保護者が相談できる
居場所作りが大事ではないか

答 子どもへの関わりが大事で
あります。様々な支援機関との連携を強化していきたい

①今年度より始ま
った児童育成支援
事業について伺う。

②事業の創設の背景として
は、子どもが直面する課
題が複雑かつ、複合化し
たことにより、子どもの
個別のニーズにきめ細か
に対応する「居場所」が必
要となってきたことにあ
る。対象となる条件等に
ついては、家庭における
様々な事情により養育上
の不安や困難さを抱える、
小学校から高校生の学齢
期で、学校や自宅以外に
居場所を求める児童等を
主な対象条件としている。

③子どもたちが安心して
過ごせる居場所を開設し、
人や地域全体で支えるこ
とを目的としている。生

活習慣作りや学習活動の
サポート、食事の提供、悩
み相談、そして保護者へ
の相談支援や情報提供な
どに取り組むもので、学
校や園、こども家庭セン
ターなどの関係機関との
連携も図っていく。

④現在は、11名程度の児
童が利用しており、利用
のための手続きは、原則
として保護者による利用
申し込みが必要となる。

⑤児童育成支援拠
点事業は、地域に
おける子どもと家庭の総
合的な相談・支援の拠点
をつくることを目的に国
とで自己肯定感や信頼感
が育ちにくくなることが
おな方との出会いの場を
設けていきたい。

⑧今年度より始ま
った児童育成支援
事業について伺う。

⑨事業の創設の背景として
は、子どもが直面する課
題が複雑かつ、複合化し
たことにより、子どもの
個別のニーズにきめ細か
に対応する「居場所」が必
要となってきたことにあ
る。対象となる条件等に
ついては、家庭における
様々な事情により養育上
の不安や困難さを抱える、
小学校から高校生の学齢
期で、学校や自宅以外に
居場所を求める児童等を
主な対象条件としている。

⑩活習慣作りや学習活動の
サポート、食事の提供、悩
み相談、そして保護者へ
の相談支援や情報提供な
どに取り組むもので、学
校や園、こども家庭セン
ターなどの関係機関との
連携も図っていく。

⑪現在は、11名程度の児
童が利用しており、利用
のための手続きは、原則
として保護者による利用
申し込みが必要となる。

⑫児童育成支援拠
点事業は、地域に
おける子どもと家庭の総
合的な相談・支援の拠点
をつくることを目的に国
とで自己肯定感や信頼感
が育ちにくくなることが
おな方との出会いの場を
設けていきたい。



問 急傾斜地の危険な草刈りを町でお願いできないか

答 まずは、急傾斜地崩壊危険区域の状況を把握し、整理を行った上で、町の対策を検討する



かわひがし あき お
川東 昭男 議員



◆ 豊田4区の急傾斜地
(上から見る)



◆ 豊田4区の急傾斜地
(下から見る)

問

私の住む豊田4区では、昨年度から「急傾斜地崩壊危険区域」の約3分の1の草刈りは、作業があまりに危険なため、どうとう放置せざるを得なくなりました。

ところが、この夏に放置した「急傾斜地」の下の建物に、つる草が屋根全体に覆いかぶさり、大変な状況になりました。

草刈り作業は、そこに住む住民が力をあわせてするべきものと思つていますが「危険な箇所」については、町で対応して頂けないものか伺います。

①日野町の「急傾斜地崩壊危険区域」の件数を地域別に教えてください。
なお、砂防事業や治山事務等についても教えてください。

いか伺います。

豊田4区の対応は、急傾斜施設の一部が破損するなど修繕が発生した場合には、随時修繕の対応をしており、現場の状況にあわせ対応している。

③豊田4区の急傾斜地は、ブロック積工法の上に法枠工法の表面に防草シートが設置されている、特

業等について事業別に伺います。

答 ②日野町の「急傾斜地崩壊危険区域」は47箇所。工事で整備した件数は、東桜谷地区で65件、西桜谷地区で3件、南北都佐地区で34件、必佐地区で31件、日野地区で5件、西大路地区で18件の合計156件。

また、治山工事は68件。砂防事業は43件あるが、河川の上流部での工事で、家に近接する箇所はない。

④町は「急傾斜地崩壊危険区域」等の草刈り作業について、現場確認の上、町が基準を定め「地域指定制度」を策定して、町の責任で対応してもらえないか伺います。

豊田4区の対応は、急傾斜施設の一部が破損するなど修繕が発生した場合には、随時修繕の対応をしており、現場の状況にあわせ対応している。

③豊田4区の急傾斜地は、ブロック積工法の上に法枠工法の表面に防草シートが設置されている、特

急傾斜地崩壊危険区域とは

急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和44年7月1日法律第57号)、「急傾斜地法」という。第3条に基づき、関係市町村長(特別区の長を含む)の意見をきいて、都道府県知事が指定した区域です。

(1)崩壊するおそれのある急傾斜地(傾斜度が30度以上の土地をいう。以下同じ)で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に被害のおそれのあるもの。
(2)①に隣接する土地のうち、急傾斜地の崩壊が助長・誘発されるおそれがないようにするため、一定の行為制限の必要がある土地の区域

答

町内の急傾斜斜地で整備された箇所は、昭和50年代から平成10年代にかけて大半が整備されている。当時と

た箇所の現状や管理状況は把握できていない。

まずは、急傾斜地崩壊危険区域の状況を把握し、整理を行った上で、町の対策を検討する。

問 通じて、県は、他に「草刈りされている箇所はない」といい、町も「豊田4区の急傾斜地は、特

別に草刈りされている箇所がない」と答弁。また「町の責任で、草刈りを実

施している箇所が1箇所を確認し、状況を把握することで、一定の整理ができると考へる。

問 再・再々質問を

要望として

豊田4区の急傾斜地は、現在、町が実施されている1箇所と同様に危険な箇所として「地域指定」して頂きたい。さらに、他の同様な地域においても「地域指定」の上、町による草刈りをお願いしたい。

問 メロディチャイムの曲を四季に合わせて変えてはどうか

答 メロディチャイムは同報系防災行政無線が正常に稼働しているか毎日テストするのが目的のため曲を変更する予定はない



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員



問

この質問は6年前にも「メロディ

3点目に曲目は何曲収納されているのか。また

問 松尾公園にあるカリヨンベルを大谷公園に移設できないか

問 前にも「メロディがわってない」と思うがどうか」と云つた上で一般質問しています。これに対し答弁では、「曲は4曲鳴りしサイレンの吹鳴もしている。曲は各地域において決定いただいており、区長会等で要望があれば対応する」との答弁をいただいていますしかし、現実は区長は毎年代わっており、区長の多くはこのことを知らないと思いますので、そうした申し出は無いかと思います。この質問以来6年が経過しますが、区長会から曲目の変更について要望があったのかどうか伺います。

次に要望がないため今まで同じ曲を鳴らしているというのであれば、区長会に問い合わせるとか、当局から進んで曲の変更を考え、定期的に変えていくところ姿勢があればと思うのですがどうか。

3点目に曲目は何曲収納されているのか。また日野町には日野が生んだ日本の作詞家、細川雄太郎氏が作詞された『綿向山(わたむき)贊歌』や『ちんから峠』などの曲がありますが、それらの曲や、さらには『青い日の人形』、『日野小唄』など、日野町にまつわる曲を流してはどうかと思いますがどうでしようか。

ベルとして利用を継続していく
ではないかと思い
しかし現実は大谷
比較すると利用者
いのが現実です。
え多くの町民が集
谷公園の一角に移
多くの利用者にそ
ディを聞いてもら
ではないかと思い
は30曲あると聞い
すが、これも季節
わしい曲を流すこ
節感が出せるし、
利用者もスポーツ
張感を一時和らげ
ができるのではな
思います。また、
園らしくスポーツ
のある曲を流すの
の演出です。例え
冠は君に輝く』と
子園の高校野球で
いる曲なども好み
ではないか。こう
も追加して頂けれ
います。

答 松尾公園に設置
のカリヨンベル
は、定刻の時間になると
公園や近隣施設の利用
者、また近くの住民にも
メロディとして時刻をお
知らせしています。

平成元年に設置してか
ら年月が経ち、今では松
尾公園のシンボル的存在
となつており、多くの人
に親しみを持つていただ
いています。よつて、今
後も松尾公園のカリヨン
ベルとして利用を継続し
ていきます。



問 子どもたちの食のあり方について

答 家庭・地域・教育機関・行政が一体となり食育の推進に努める

にしき ど ゆ か
錦戸 由佳 議員



問

食育は幼少期から
の取り組みが大
人になってからも食習慣
に与える影響が大きいと
考えるが、町の食育への
取り組みはいかがか。

①学校教育での食育の具
体的な取り組みは。

②現在、食育における
一番大きな課題は。

③学校給食が地域循環型
社会の構築に貢献出来る
のではと考えるがいかが
か。

④調理くずと食べ残しを
減らすための取り組みや
成果は。

⑤今後、農業衰退が懸念
されるが学校給食に与え
る影響は。

⑥給食調理員の職場環境
はいかがか。

⑦指定避難所となつてい
る各学校に調理場がある
ことについて町の考えは。

⑧令和10年開園予定の新
こども園での給食提供は
現時点でのよつに考
えているか。

答

①取り組みとして
は大きく4つあり、
食に関する指導

・地産地消給食メニュー
・食育授業

・農業体験学習
を地域の特色を活かし体
験学習することで命の
尊さや食の大切さを学ん
でいる。

②農業体験学習
を地域の特色を活かし体
験学習することで命の
尊さや食の大切さを学ん
でいる。

③地場産品の提供にも力
を入れ、残渣は生ごみ処
理機で堆肥化し、役場で
配布しており、しくみの
一つになつていると考
えます。

④現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

⑤地場産活用を進める
中、大きな影響があると
考え、給食に提供してい
ます。

⑥調理室の環境は順次整
えているが、近年の猛暑
による負担はある。調理
員が休まれる場合の代替
はスポーツ調理員で対応
している。スポーツ調理
員については登録人数を
増やすためにも募集を継
続して行う。

⑦現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

⑧現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

▶給食だより(9月号)



⑤地場産活用を進める
中、大きな影響があると
考え、給食に提供してい
ます。

⑥調理室の環境は順次整
えているが、近年の猛暑
による負担はある。調理
員が休まれる場合の代替
はスポーツ調理員で対応
している。スポーツ調理
員については登録人数を
増やすためにも募集を継
続して行う。

⑦現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

⑧現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

⑨現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

⑩現時点では0～5歳ま
での園児に対し、自園調
理による提供を考えてい
ます。

災害時に温かい食事
提供が出来ることは住
民にとつてとてもあり
がたいことである。日頃
から災害時に備え、調理
場を使つた防災訓練な
ども検討していただき
たい。

⑪大人数の調理を行い、
避難者への温かい食事提
供が出来るため、災害発
生時には非常に有効であ
る。調理場には食材のス
トックはない為、町の備
蓄品などで対応する。

⑫大人数の調理を行い、
避難者への温かい食事提
供が出来るため、災害発
生時には非常に有効であ
る。調理場には食材のス
トックはない為、町の備
蓄品などで対応する。

災害時に温かい食事
提供が出来ることは住
民にとつてとてもあり
がたいことである。日頃
から災害時に備え、調理
場を使つた防災訓練な
ども検討していただき
たい。

要望として

さらに残渣を減らせ
るよう、幼児期から取
り組みやすくするため
に「一口チャレンジ」
や「野菜を花形にカッ
トする」、「ロング給食
時間」を設けるなど、
子ども達が給食を楽し
みながら食育に取り組
めるよう検討していただき
たい。

要望として

給食に関わる者が連携
し、子どもたちにとって
安心、安全な給食提供と
なるようこれまでと同様
に対応をしていく。

災害時に温かい食事
提供が出来ることは住
民にとつてとてもあり
がたいことである。日頃
から災害時に備え、調理
場を使つた防災訓練な
ども検討していただき
たい。

⑬大人数の調理を行い、
避難者への温かい食事提
供が出来るため、災害発
生時には非常に有効であ
る。調理場には食材のス
トックはない為、町の備
蓄品などで対応する。

問 あれから80年「私たちはどう生きるのか」

答 平和教育を通じて、命が大切にされるまちづくりを進めています



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員



問

8月15日正午、
全国戦没者追悼式

答

① 現状を踏まえて
① 終戦から80年と
いう大きな節目の年であり、過去の戦争の記憶・記録を次世代に確実に継承し平和な暮らしを未来に引き継ぐ思いを再確認すべき年であると認識しています。8月24日に開催した平和祈念式典および戦争の記憶展をはじめ、町内の各種企画展を通じてより多くの方々に平和文化を共有いただけるよう取り組みを行っています。

問

問 日野町的マーケティングと持続可能性
答 「誇り」と「愛着」が持てるまち日野町を目指して取り組みます

の模様を観ながら子どもとともに黙とうを捧げました。この間、放映されたスタジオジブリ作の「火垂るの墓」「君たちはどう生きるか」などは戦争と人間の生き方が描写されており全世代に訴えかける内容となっています。

小学校・中学校での平和学習はSDGsにおいても重要と考えられています。青年団では平和を希求した青年大会・広島・長崎での式典参加や平和集会など多くの取り組みを行っています。戦後80年となる今、住民・行政・関係者をはじめ、全世代でこれから時代の平和についての学びを再考していく必要があると考え、お聞きします。

① 戦後80年を町はどういうに捉えて取り組みを行っているか。

② 教育を含めたこれからどのように考えているか。



答

現状を踏まえて
① 当町の強みは豊

教育は児童・生徒が人権を尊重し、他者との共生を図る力を育むための基盤的な教育であります。社会教育においても人権教育としての根幹の部分を未来に繋ぐ重要な役割があると認識しています。町民憲章にある「わたくし達日野町民は、平和を愛し住みよい町をつくりましょう」を胸に刻み、人がそれぞれに尊重され、大切にされるまちづくりを進めてまいります。

町の魅力を継続的にどう発信するかはこれからの自治体運営、持続可能なまちづくりにおいて重要となります。自治体マーケティングの効果として「地域の長所・弱点を明確化できる」とい

う点では、良いところだけではなく悪いところを単なる知識や印象ではなく、言語化することがで

きます。「使える手段の幅が広い」という観点からは企業のマーケティングに比べて、ターゲットとなる層の決め方、打ち

選択肢が無限大に広がります。特に自治体が保有する公式ホームページやSNSの運用という様々手法の中で戦略的に有効です。各市町村ごとに取り組みを行っています。

SNSの運用という様々手法の中で戦略的に有効です。各市町村ごとに取り組みを行っています。一方、地方の自治体全般での各種企画展を通じてより多くの方々に平和文化を共有いただけるよう取り組みを行っています。

選ばれ、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

選び、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

選び、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

選び、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

選び、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

選び、認められる点はそれぞれに異なり、気候的な話や歴史・文化、公共交通やその町に住む人の気質など色々なことに

問 近江日野産日野菜の生産振興について

答 今後も生産者に寄り添い、生産者、生産量を増やしていきたい



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員



問

令和4年、我が
ふる里である鎌掛

の地で発見された日野菜
が農林水産省の地理的表
示（G-I）保護制度の認
証を受け、鎌掛の地域と
しても喜んでいるところ
です。

しかし、その生産体制
をみれば生産者の高齢化、
後継者不在、将来に向け
た生産体制の脆弱さなど、
課題は山積していると言
わざるを得ません。

鎌掛地区では、地域住
民だけでなく広く地域内
外の方々に呼びかけ、一
人一畝の日野菜を栽培す
る「ひとうね運動」に取
り組み、住民が支え合い
ながら日野菜の生産振興
と地域の誇りを次の世代
に受け継いでいるよう
に取り組んでいるところ
です。

G-I認証から3年経過
しようとしている今、改
めて日野菜振興にかける
町の考えを伺いたいと思
います。

①過去5年間（令和2年）
年間（令和2年）

～6年）における日野菜
生産量、生産者数はどの
よう推进しているか。

②令和7年の日野菜生産
量、生産者数の見込みは
いかがか。今年は猛暑と
降水量不足で播種作業が
思うように進まなかつた
と聞いており、減量にな
ることを心配している。

気候変動に悩まされてい
る生産者に向け、JA指
導員、町のより一層の協
力を願いたいがどうか。

③日野菜の種子は古くよ
り深山口の地で連綿と厳

正に守り、受け継がれて
きているが、過去5年間
(令和2年～6年)の種
子生産量の状況は、どの
よう推移しているか。

④令和7年度から、JA、
町、県による日野菜生産
モデル事業が取り組まれ
ており、鎌掛の「農事組
合法人ファームかやの」
も、ほ場の提供などに協
力している。モデル事
業の目的、事業期間や事
業内容などをどのように
います。

生産体制に対する支援
がないと安心して生産で
きる体制が持続できない
と考える。日野菜や種子
を生産されている組織に
対して、支援策の拡大が
できないか。

答 ①令和2年が32ト
ン、60名

令和3年が46・3kg
令和4年が50・5kg
令和5年が30・6kg

令和3年が46トン、68
名
令和4年が32トン、60名
令和5年が27トン、58名
令和6年が20トン、52名
②現在のところ、生産量
が約25トンから30トン、
生産者数は60名程度と見
込んでいます。最近の異
常気象、高温の障害が出
ている。害虫の発生にも
悩まされている。町やJ
Aで定期的なほ場巡回を
実施し生産者に寄り添い
支援を行っている。令和
6年度から日野菜生産コ
ーディネーターを採用し
ており、これからもしつ
かりと支えていきたい。

か、口コミや声掛けによ
り生産者を増やす努力も
している。今後も生産人
数を増やし、生産量を増
やしていければと考えて
いる。

これまでからも機械化
入時の補助をしているほ
か生産者の意欲が向上す
るよう今年度から日野菜
加工場に出荷する際の補
助を新たにつくつてい
る。どのような支援がよ
いかは関係者の意見を参
考に次年度以降に考えて
いきたい。

7年の春作と秋作の日野
菜を、機械化による省力
化や生産効率の向上によ
る面積拡大の実証圃とし
て、畝立て同時播種によ
る少人数での作業等を行
われているものです。実

証結果等を検証し来季の
実施も検討される予定で
ある。



長野日野菜生産団地：
鎌掛地先、県道41号土山蒲生近江八幡線沿い
に広がる日野菜畠を指す

問 学校給食費の無償化について(その2)

答 国からの具体的な方向性が示された段階で町として無償化の対応をする



まつだ ようこ
議員



境界より収入が少し多い
為に給付対象から外される家庭に対して、給食費の無償化が実現するまでの期間において、準要保護の定義1・2倍を1・5倍に引き上げることが
できないのか伺います。

③就学援助金を準要保護定義の1・3倍にしたら

76人が対象となり、一人7万円で計算すると、105万円の増額、1・5倍にしたら90人が対象で287万円の増額になる

③日野町より高い率で就学援助金を認定している市町よりも日野町の認定率は高く、年々増えています。平成17年「三位一体の改革」で国庫補助が廃



①国は令和8年度に小学校給食費無償化の予算計上を予定していますが、日野町において令和8年度から給食費の無償化を実現するのか伺います。

②就学援助の対象となる

答 ①現時点では、町

規

模

は3,200

m²必要と回答されました

③新しい土地を買い上げ

ての新園舎建設には、高

が、これは廃園となる園

の合計定員数500人預

かるのに3,200m²必

要なのであって、跡地を

利用しようとは考えな

かつたのか伺います。

②就学援助費の判定基準

を引き上げることについ

ては、現行の援助率を維

持すると判断している。

必要な支援を受けられな

いご家庭が生じることの

ないよう、個別の相談対

応や各家庭の状況に応じ

た柔軟な支援の充実に努

めています。

③新こども園の建設予定

地が日野町の中央に位置

し、通園対象者が全町と

なることから、中央から

離れた地域に、子育て世

代が住居をためらうこと

にならないか心配されま

す。町として子育て世代

の定住についての考えを

伺います。

③閉園予定の幼稚園や保

育園の跡地利用の協議は

しましたが、町内施設の

配置バランスと駐車場や

園庭を考えるとどうして

も、10,000m²以上の

敷地が必要となりました

ので、図書館の東側と北

側の土地

に新こども園を建設する予

定となつたものです。



答 病後児保育室等新たな部屋も検討している
①新こども園園舎の定住についての考えを伺います。

②新しい土地を買い上げての新園舎建設には、高

が、これは廃園となる園

の合計定員数500人預

かるのに3,200m²必

要なのであって、跡地を

利用しようとは考えな

かつたのか伺います。

②就学援助費の判定基準

を引き上げることについ

ては、現行の援助率を維

持すると判断している。

必要な支援を受けられな

いご家庭が生じることの

ないよう、個別の相談対

応や各家庭の状況に応じ

た柔軟な支援の充実に努

めています。

③新こども園の建設予定

地が日野町の中央に位置

し、通園対象者が全町と

なることから、中央から

離れた地域に、子育て世

代が住居をためらうこと

にならないか心配されま

す。町として子育て世代

の定住についての考えを

伺います。

③閉園予定の幼稚園や保

育園の跡地利用の協議は

しましたが、町内施設の

配置バランスと駐車場や

園庭を考えるとどうして

も、10,000m²以上の

敷地が必要となりました

ので、図書館の東側と北

側の土地

に新こども園を建設する予

定となつたものです。



止された後は、町の裁量でやつており、援助率を考えておりません。

②再編整備計画では、新

たものです。

問 美味しい「近江日野米」を構築し、持続可能な地域農業に

答 近江米「きらみずき」について有利な販売の準備を進めている



やまもと ひでき
山本 秀喜 議員



綿向山をバックに収穫作業の最盛期

広く拡販できれば、町の農業を支えられると確信しています。町の農業を取り巻く諸課題について①持続可能な農業経営体とは②産地交付金などの支援拡充は

国営による大規模化、スマート農業が進められる中山間地で条件不利地の多い日野町の農業をどう守っていくのか。まずは

り言って「美味しい近江日野米」を地域ブランドとして地消はもとより、

加えて、東近江市では国営による大規模化、スマート農業が進められると言られています。

今年の米不足は

③5年に1度の水張りル

は

④美味しい「近江日野米」を拡販するには、

面や価格の不安がつきま

とっています。

とつています。

問 町消防団の定数と集落の現状について

答 消防団幹部会と協議し、削減を視野に慎重に検討



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員



県内市町の消防団に係る概要等

	面積 (m ²)	人口 (人)	分 団 数	団員数			平均年 齢	在職年数		手当額(1口)		
				(実数)	条例 定数	その差		10年 未満	10~20 年未 満	20年 以上	火災 風水害	警戒 訓練
県計	10,412,004	1,432,045	223	7,406	8,418	▲1,012	43.8	4,020	2,350	1,036		
大津市	4645.51	343,916	36	1,178	1,313	▲135	46.9	538	387	253	8,000	2,000
彦根 市	3540.77	132,243	17	424	525	▲101	45.4	208	106	110	8,000	1,700
福井 市	7,80	7,196	2	39	50	▲11	45.3	16	11	12	8,000	4,000
甲良町	13.63	6,551	2	53	60	▲7	48.9	22	17	14	8,000	4,000
多賀町	135.77	7,418	2	51	60	▲9	47.9	14	14	23	8,000	4,000
高島市	6,930.50	45,783	12	469	560	▲91	43.7	193	183	93	8,000	8,000
草津市	6782.13	139,939	9	227	274	▲47	47.1	106	84	37	8,000	8,000
湖南 市	55.73	85,856	8	217	219	▲2	45.9	91	78	48	8,000	8,000
守山市	52.69	70,469	6	91	114	▲23	54.3	52	22	17	8,000	8,000
栗東市	80.15	50,711	8	158	178	▲20	47.9	69	59	30	8,000	8,000
近江 橋市	177.45	81,875	12	436	500	▲64	46.6	253	129	54	8,000	8,000
東近江 市	388.37	112,064	27	797	910	▲113	42.6	497	234	66	8,000	4,000
日野町	117.60	20,861	3	185	185	0	39.7	157	26	2	8,000	3,500
竜王町	445.5	11,433	3	185	192	▲7	41.9	156	23	6	8,000	3,500
愛荘町	37.97	21,194	6	110	142	▲32	40.0	88	14	8		1,700
甲 賀 市	70.40	54,382	5	281	300	▲19	39.9	159	94	28	8,000	2,000
湖南 市	481.62	88,493	23	945	1,120	▲175	39.8	535	362	48	8,000	2,500
長浜市	681.02	113,940	29	844	854	▲10	42.4	476	256	112	8,000	3,000
米原市	280.39	37,761	13	716	862	▲146	43.6	390	251	75	3,400	1,700

※大津市は、警戒2,000円、訓練1,600円。高島市は、警戒8,000円、訓練1,500円。他は警戒・訓練同額。

▲滋賀県の消防に関するホームページから抜粋して加藤が作成

④ 声は認識している。訓練の重要性、災害対応などを考慮し、定数削減を視野に団と協議、慎重に決定したい。

団員減少は全県的傾向でもあり、消防団の必要性は十分承知の上で、若者流出を食い止める」とでも検討されたい。

①町の総定数185人の根拠、分団制、分団定数の根拠を伺う。

②条例定数を満たさない市町がほとんどであるが

答 ①平成2年条例定
数は有事の対応や
団活動に鑑み、団と協議
し決定。3分団制の経緯
と定数は地域の特性を把
握したもの。

国保料(税)の平均額(モデル)は43万8,765円、町は45万4,100円。
①国保加入者には、高齢者や低所得者の割合が高く、これ以上税額を上げることは限界であると考えるが、どうか。町の国保基金の取り崩しの限度をどう考えているか。

率がよく、保健事業のコアの高いことで保険料を低く抑えてきたが、今後これらはどう生きられるか。町の努力ができるることは何か。

③国庫負担割合増加を求めるなど国への要望が不^{可欠}と考^えるが、どうか

②取り組みそのものは町民の健康増進につながり国の特別調整交付金に評価額が反映される。

③国保の安定的な運営には、国の財政措置や適切な制度設計は欠かせないものと考えている。町としても、知事要望で国に

西桜谷地区行政
問 懇談会で消防団員
確保の困難さについて集
落の現状が述べられ、町
の団員総定数、3分団制、
分団ごとの定数、集落ご
との定数などの見直しが
要望された。

③他市町より平均年齢が若く、選出の困難さを示しているがどうか。

④ポンプ操法大会の出場訓練が若者流出の一因とも言われる。定数見直しの予定はどうか。

新聞報道では、県内市町の
計の将来展望も見えない
き上げられ、国保会
国保税は年々引
問 知事要望で
問 高すぎる国保

国に対して施策の推進を要望

年間で、日野町は8万5,100円の値上げで、県内2番目の高い上げ幅(表)。これまで税の収納担に留意しつつ判断した

した。基金の残高には限界があり、国保財政の維持と被保険者の保険税負担に留意しつつ判断した

問

西桜谷地区行政 懇談会で消防団員

③他市町より平均年齢が
問題にならないのか。

問

答 知事要望で国に対して施策の推進を要望

県内市町の国保料(税)と値上げ額(単位円)			
市町	2017年度	2025年度	値上げ額
大津市	434,730	451,890	17,160
彦根市	429,555	453,528	23,973
長浜市	424,090	434,410	10,320
近江八幡市	430,700	448,300	17,600
草津市	389,900	443,300	53,400
守山市	370,300	441,800	71,500
栗東市	460,500	450,400	▲10,100
甲賀市	396,200	438,700	42,500
野洲市	427,100	459,000	31,900
湖南市	411,700	423,500	11,800
高島市	450,100	427,500	▲22,600
東近江市	418,200	444,800	26,600
米原市	431,300	429,500	▲ 1,800
日野町	369,000	454,100	85,100
竜王町	356,900	394,600	37,700
愛荘町	408,400	416,600	8,200
豊郷町	365,200	442,600	77,400
甲良町	384,500	390,900	6,400
多賀町	339,500	491,100	151,600
平均額	405,151	438,765	33,613

30代の夫婦と就学児2人の計4人世帯、夫の所得310万円の
ケース。介護分は含まず。平均は単純平均

▲『滋賀民報』社の資料による

問 南比都佐地区5集落が供給を受ける 甲賀市上水道の断水事象について

答 地区要望を踏まえ協議を重ね改修の要望を行う



ゆのき
きく
お
柚木 記久雄 議員



問 昭和41年に協議が整い「上水道の区域外設置」として上駒月・下駒月・深山口・上迫・下迫地区の5地区は、昭和43年頃より土山町から上水道の供給を受けています。その後第3緑ヶ丘地区もこの取扱いに加入されております。当時は日野町・土山町双方に上水道の区域外設置のメリットがあり始まつたと聞いています。

さて、令和6年に断水が4度起こりました。特に12月にあつた断水は事故によるもので夕方に突然止まり、関係地域の住民は大変困りました。

そこで区長会長・公民館長と私で甲賀市役所に面会に行つたところ「甲賀市は一般会計から水道事業会計に繰出しを行つており日野町からも工事費負担の協力をお願いできなかつた」とのことでした。

日野町にこのことを持ち帰りましたが「水道事業も甲賀市が経営されることが原則と考えています。

答 ①配水管改修工事に伴う費用負担、一般会計繰出しに関する議論、今後の方針性などを協議しました。公営企業法等に基づき独立採算による経営が基本で当町に負担義務はない。甲賀市において整理が必要。当初の協議に基づき今後も甲賀市が経営されることが原則と考えています。

②甲賀市との協議は以前より行つてきましたが、見解が相違し前進していませんでした。地区は区別されるのですが、甲賀市へ要望するとともに今後も協議を重ねます。

問 新こども園開設前に近隣市の施設で運用を開始する

答 私はこのことについては3度目の質問となります。一度目は第二期子ども子育て支援計画に計画されているのに、動きが無いことからその進捗について、二度目は県外でも多くの市町村が実施しており、県内では竜王町と当町のみ実施していないことから町の考えを質しました。

今回は竜王町が認定こども園で開設したとの記事を目にしたことで再び質問させていただきました。日野町の新認定こども園構想に含まれていることは聞きましたが、ま

追加回答として、

場所	甲賀市および湖南市にある単独施設
利用方法	相手先の自治体と同一手順で
対象	未就学児に小学生を含めるか検討中
開始時期	令和8年予定
その他	新こども園の開園後も継続する

詳細は町のホームページ等で発表します。



問 平和堂跡地利活用と商店街振興について

答 現在、活用計画はないが観光イベントなどで活用し、商店等の賑わいにつなげたい



なかにし けいこ
中西 佳子 議員



平和堂日野店跡地

問

令和3年に町が平和堂跡地を取得されました。令和6年には、跡地にトイレ設置の設計がされました。現状の跡地利活用は、学校事、マルシェ、日野祭などの駐車場として活用されています。平和堂跡地がまちなかの賑わいの拠点となるよう願い伺う。

①トイレ設置設計をされたが、どのようなもので工事の計画予定はどうか。
②現在の跡地利活用のほか、利活用の予定は。
③草が伸びてきている現状だが、管理はどこがされているのか。
④今後、商店街振興につながる跡地活用計画はあるのか。

答

①日野町観光駐車場及びトイレ新築工事設計については、まちかど感應館新館みかく前のトイレをベースに設計をしたが、仕様変更や物価上昇も伴い想定して額となつた。工事計画は、地元の声を踏まえつつ見直しを進める。

②新たな予定はないが、まちなか観光の基点として、日野祭、日野ひな祭り紀行、コーヒーフェスティバル等の観光イベントなどで駐車場や仮設トイレ設置場所としてひらく活用している。

③跡地については、町が管理しており観光イベントなどで駐車場等として活用する場合は、担当課の商工観光課と日野観光協会で管理している。

④現在、具体的な跡地活用計画はないが、観光イベントなどで駐車場等として活用するにより、商店等の賑わいにつなげた。

問

問 小・中学校体育館のエアコン整備について

答 中学校への整備が最優先であると考える。小学校は、体育館の老朽化に伴う大規模改修と合わせて、計画的な整備を検討する。

問

学校体育施設開設事業では、多くの中学校を訪問し、

答

①今年度、甲賀市の中学校を訪問し、

めることが必要。その中において、猛暑となる夏休み期間にもクラブ活動を行っている中学校への

体育館に設置された空調を利用されている。子どもたちにとつては、体育館は体育の授業や部活動

設備の仕様や実際の使用状況等について情報収集を行った。その中で、経費やランニングコストなどの課題を課内で協議している。

休み期間にもクラブ活動を行っている中学校への整備が最優先であると考

そして各種行事など重要な場所である。また災害時には、避難所となる体育館の環境改善にエアコン整備も必要と考

え。小学校については、体育館の老朽化に伴う大規模改修と合わせて一体

的に整備するなど計画的な整備を検討する。

①町は体育館へのエアコン設置について、検討や研究、調査はされているのか。

②財政負担等をふまえた取り組みについては、導入にかかる経費は、町財政の負担軽減となる有利

な補助事業の活用を検討する。また、学校における使用ルールの調整や学

校体育施設開放事業による体育館の使用料の見直しなど、ランニングコストについても検討が必要である。

②今後、財政負担等を乗り越え、どう取り組んでいこうとお考えか。

③先ずは、中学校体育館から考え、その後、小学校に順次設置を考えられないか。

③体育館への空調設備の設置については、大きな財政負担等を生じることから、計画的な整備を進



問 米増産への政策転換を受け 町当局の農家への対応を問う

答 農業・農村を守っていくために大小農家、
土地持ち非農家が協力し合える体制を目指す



後藤 勇樹 議員



長年下落傾向に
あつた米の消費は
ます。そこで米増産への
政策転換を受けた当局の
始め、23年度は国内の米
生産量661万トンに対
し、需要は705万トン
に達しました。23年度は
猛暑と水不足で作況指数
が悪化し、屑米も増えま
した。この状況下で24年
8月に南海トラフ地震臨
時情報が流れ、消費者の
米買いだめが急増、米が
店頭から消えました。こ
の令和の米騒動は、社会
不安を煽るマスコミ報道
が大きな要因と考えられ
ますが、小泉農水相は就
任直後から米不足解消と
米価安定を掲げて、本来
の趣旨から逸脱した政府
備蓄米の放出、減反政策
後の生産調整を見直した
米増産政策、輸入米の活
用等を打ち出しています。
これらは一見すると消費
者に寄り添う施策に映り
ますが、一方で、ようやく
補助金に依存しない稻作
農家の営農意欲を、再び

削ぐ危険性をはらんでい
ます。そこで米増産への
政策転換を受けた当局の
農家への対応を伺います。

答 一連の米政策転
換は政府備蓄米の
市場放出による消費者米
価対策等、消費者向けの
対応策が自立ち、生産者
にとつて適正な米価に戻
った状況から、今後、再び
米価が下落する懸念があ
る。農家が生産を継続で
きる農業所得を確保でき
る仕組みの検討が必要。
米の安定供給と生産意欲
維持のバランスを考える
上では、米価と生産量が
重要。農家が将来にわた
り生産意欲を維持できる
よう、安定供給を望む消
費者との結びつきを強め
ることも大切。このバラ
ンスを念頭に置き情報収
集し、町のできることを
検討したい。農業・農村を
守っていくため大小の農
家、土地持ち非農家の協
力体制構築を目指したい。



問 町道奥之池2号線・第二工区の今後の進捗を問う

答 東桜谷住民の長
年の懸案であった
町道奥之池2号線の整備
計画は、令和3年度に第
一工区の供用が開始され、
幅員が狭く曲がりくねつ
た旧道に比べ、通行が安
全になったとの声も届い
ています。しかし、第二工
区の進捗が聞こえてこな
いことから、町当局の今
後の計画を不安視する住
民も多くあります。そこ
に、同町道第二工区の今
後の整備計画について伺
います。

答 町道奥之池2号
線整備計画は、令
和3年度に佐久良地先か
ら町道奥之池線(旧道)に
接続するまでの工事が完
了し、町としては一定の
整備が完了したと認識し
ており、現時点で具体的
な整備計画は無かつたが、
奥之池地区や議員からの
強い要望を受け、先線に
ついて地元と継続して協
議を進めている。町は現
在、多数の町内路線で道
路整備要望を受けており、
交付金確保、整備路線の
整理、人員体制の確保等
が課題である。今後、予定
範囲で公図が混乱してい
る箇所もあり、道路を整
備する上で土地の整理が
必要になる。問題解決に
向け、地籍調査事業も実
施しており、道路整備着
手時に、用地買収がスム
ーズに行えるよう取り組
みを進める。

▶令和3年度に供用開始
された町道奥之池2号
線・第二工区

▶第一工区の終点。この先、
集落まで離合困難な道
路が続く

問 地域共生社会をつくる重層的支援体制整備とは？

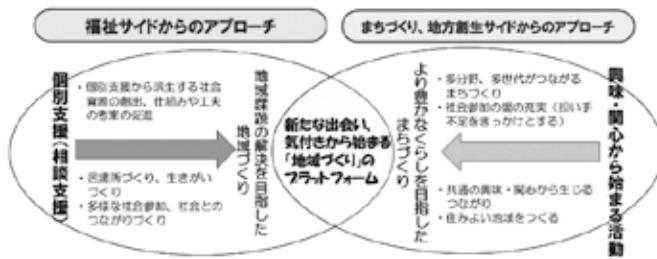
答 人と人とのつながりを再構築する仕組みの整備だ



野矢 貴之 議員



『地域共生』は『まちづくり』



▲地域共生は福祉的アプローチにとどまらない
困りごと解決の福祉的アプローチだけでなく、やりたいことを見つけて実現していくまちづくり的アプローチも必要
引用元：日野町地域共生担当課資料

問

厚生労働省は、
地域共生社会を
「縦割り」や「支え手」受け手」という関係を超えて、多様な主体が参画し、

住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」と定義している。これは日野町第6次総合計画の「時代の変化に対応しだれもが輝きともに創るまち日野」を具現化するものだ。そのための「重層的支援体制整備」とは？

答

社会情勢の変化
によって人間関係
が希薄化してきたことを
課題としている。地域共生はお互いさまの関係性を築くことが大切だ。そ

のための重層的支援体制整備事業とは、人と人のつながりを再構築する仕組みづくりであると考える。つまり、現在が完成形ではなく、新たな体制を整備する必要があるといふことだ。日野町は体制整備の準備段階にある。

問 既存の福祉施策の延長上のような体制を重層的支援体制としてしまうと大きな課題が残る。福祉的アプローチにとどまってしまい、支援する側される側にわかれ、地域に根差した活動にならないようでは、目指す姿と乖離が出てしまう。それらを解決する体制の整備をする必要性があるのではないか。

答 地域共生社会は、各々やりたいことの活躍も大切なことだ。

<既存の重層的支援体制整備事業の課題>

- 課題① 福祉的困りごと解決にとどまる
課題② 「支援を受ける側」「支援を担う側」に分かれる
課題③ 中央集約型で地域活動にならない

●提案

「公民館機能」を含めた重層的支援体制の整備

公民館機能と福祉的機能を融合できる体制をつくる
※公民館機能＝地域で育まれるコミュニティ機能

●具体案

「公民館機能」+「福祉的機能」の職員配置

公民館に職員追加
+集落支援員：常勤
+生活支援コーディネーター：町社協より巡回
+コミュニティソーシャルワーカー：町社協より巡回

●期待する効果

上記課題解決+福祉も公民館も充実

- 効果① 福祉+社会教育の切れ目がないかかわり
効果② 誰もが役割を持つ活動につなげやすい
効果③ 公民館という拠点が地域活動そのもの
※職員や地域負担を増やさず公民館機能が充実する

▲地域共生政策を実現するための体制整備案(野矢案)

議員のうごき

7月

- 4日 第75回「社会を明るくする運動」日野大会
議員全員
- 6日 第43回日野町消防団ポンプ操法訓練大会 
議長、正副総務常任委員長
- 14日 政策立案・政策提言研修会 
議会力向上特別委員
- 16日 ダム・発電関係市町滋賀県連絡協議会総会
副議長
- 24日 滋賀県町村議会議長会 議会運営・事務基礎研修会
議長、1期目議会議員
- 26日 第60回滋賀県消防操法訓練大会出場壮行会
議長、副議長、総務常任委員長、高橋、加藤、後藤
- 28日 蒲生郡町村議会議長会議員研修会
議員全員



日野町消防団ポンプ操法訓練大会



政策立案・政策提言研修

8月

- 21日 町内立地主要企業・事業所代表者と
日野町長との懇談会 
副議長、産業建設常任委員長
- 24日 滋賀県消防協会日野支部夏季総合訓練
副議長、総務常任副委員長、柚木
- 24日 日野町平和祈念式典
議員全員



町内立地主要企業・事業所代表者と
日野町長との懇談会

9月

- 3日 政策立案・政策提言研修会
議会力向上特別委員
- 13日 氏郷まつり2025
議員全員
- 19日、20日 会津若松市交流都市懇親会、会津まつり 
副議長



会津まつり

その他

通常公務として日野町議会臨時会議・定例会議

一部事務組合(東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会)

議長公務 15件 などがあります。

もっと知りたい 日野町議会

知ってもらいたい



一般質問

町に対し、議案とは関係なく町の行政全般について、事務の執行状況や方針等について説明を求めたり、疑問を問いただしたりすること。



質疑

議題となっている議案について、議員が説明や意見を求めるること。

委員会

議会で話し合う内容を少人数の議員で詳しく審査するために設置される議会の内部機関のこと。常任委員会、特別委員会などがある。

諮る

議長や委員長が、議会で物事を決めるために議員や委員の意見を伺うこと。

付託案件

議会で決める必要のある事項について、より詳しく検討するために、常任委員会や特別委員会に審査や調査を委ねること。審査終了後は本会議で委員長がその経過と結果を報告し、採決が行われる。

議長コラム



議長 杉浦 和人

児童の
議場見学を
振り返り

子どもたちと議会との交流は全国各地で取り組まれており、当町でも小学校六年生を対象に議場見学などを実施し、さまざまな形で交流の機会を設けています。令和二年からは「自分たちの住んでいる町」のことや「日々の生活と町の政治」との関わりを学び、思考力・判断力・表現力を養うことを目的に、役場探検や議会への提案・要望など、活発な交流活動を行ってきました。

交流の中では「なぜ議員になろうと思ったのですか」といった質問を受けることもあります。その際には抽象的な答弁に終始せず、すべての議員が日々の議員活動や自らの政治姿勢を踏まえ、自信を持って具体的に答えられるよう努めなければならぬと身の引き締まる思いでした。また、ある児童からは「町の中心部は栄えているが、自分の住む地域はそうではない」と、町の将来を憂える意見をいただくこともありました。

これまで多くの児童の皆さんとワークショップや懇談を重ねてまいりました。人口減少や少子高齢化が加速する現実を直視し、子どもたちや若い世代が「この町に住み続けたい」と思えるような町づくりに向けて、行政と議会が一丸となつて取り組んでいきたいと考えています。

編集後記

この議会だよりが皆さんに届くには、秋の本番を迎えていたのではと思います。「読書の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」「実りの秋」「芸術の秋」「行楽の秋」他にもいろいろあるようです。皆さんにあてはまる秋はどれでしょうか。

今回の議会だよりでは委員会のページを少しおかまく模様替えしました。「正確な記事」に加え読みやすさも大事にしています。

住民の皆さんに議会や議員のことがよくわかる手作り広報誌として工夫を凝らしチャレンジを続けます。ご意見をお待ちしています。

柚木 記久雄

「議会だより」へのご意見をお寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。



12月1日(提案説明)	11日(質疑・一般質問)
12日(一般質問)	23日(委員長報告・採決)

議員公務の一部を紹介するにゃん



蒲生氏郷公頭彰会公認キャラクター
がもにゃん



秋の交通安全運動



秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで行われました。日野町においても、通勤通学中の皆さんに向けた交通安全の街頭啓発が実施され、地域を見守る方々と一緒に議員も各地に分かれて交通安全啓発運動を行い、地域全体で安全意識の向上に努めました。

啓発



式典

日野町平和祈念式典

日野町平和祈念式典が8月24日に執り行われ、議員も参列しました。式典前半では戦没者を追悼し、恒久平和を祈念しました。後半では、戦後80年平和事業として、鹿児島県の知覧特攻平和会館などを研修で訪れた町内小中学生2名から「戦争をしない取組が重要」「内容を周囲に伝えたい」と報告がありました。また、日野中の生徒と朗読サークルの皆さんは、町内で終戦翌日に一家5人で自決した内倉秀夫陸軍中尉を題材にした朗読劇を行い、遺書の内容や村人の思い出を語りかけ、参列者は厳肅な面持ちで耳を傾けました。

式典を通じて、平和の尊さを共有するとともに、次世代に伝えることの重要性を改めて感じました。



懇談会

各地区にて行政懇談会が開催される



行政懇談会は7月5日から8月29日にかけ、7つの地区でそれぞれ開催され、行政からは町長はじめ役場幹部職員と地区からは各区長等の出席がありました。懇談会では、自治会より事前に提出された行政への要望事項はじめ、各地区における様々な問題について話し合いが行われました。また、何班かに分かれてグループワーク形式で進められた地区もありました。各地区に所属する議員もその懇談会に出席し、地域から出された意見などを間近に聴かせていただきました。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044
メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp

